

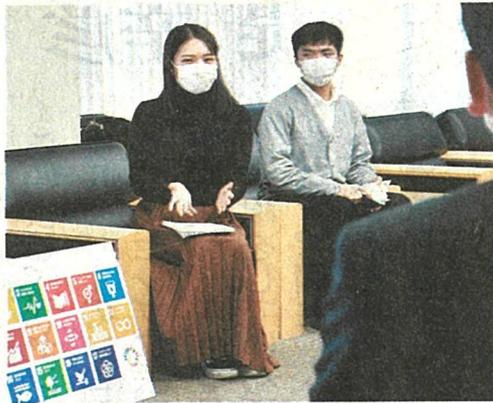
SDGs 半田の取り組みは？

日福大生と市長 来月就活催し向け意見交換

日本福祉大の学生らが主体となって企画、運営するマッチング型の就活イベント「SDGs×就活」が来月、半田市で開かれる。昨年に続き二度目の開催。十二日には学生ら七人が市役所の久世孝宏市長に開催を報告し、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」に関する市の取り組みについて意見交換や質問を行った。

イベントを運営するのは、日本福祉大で学ぶ二・三年生八人。企業と学生を結び付けるだけでなく、学生の就職を通じて、地元へ新たな雇用や税収を生む好作用も期待する。

学生たちは、イベントの趣旨や目的を順番に説明。「私は半田市民ではないが、半田や半田に根差した企業のことを知り、伝え、就活をサポートしたい」などと語り、昨年参加した企業の感想を紹介した。久世



イベントの開催趣旨を久世市長(右)に説明する学生たち。半田市役所で

市長に「SDGsを広める活動を学生主体で運営することをどう思うか」と聞く場面もあり、久世市長も「若い人たちがやってくれていることが一番いい」と感じた。

就活イベントは二月二十四日、午後一時半～五時半に市内の雁宿ホール講堂で開かれる。今年もSDGsに取り組み企業約十五社が出展し、学生も五十人程度が参加する見込み。参加は事前申込制で、企業は出展料が必要。一般社団法人SDGs designの曾根さん☎080(1909)1611

(高田みのり)